

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】 2021(令和3)年12月8日(火)

みんなの“人権”が尊重される

『まちづくり』への **《懸け橋》**

No. 41

発行:

人権啓発指導員

【大楠 茂美】

♪「知らない」を**観**に行こう!!、…で、感じたこと。  
～療養所菊池恵楓園きくち けいふうえん絵画クラブ『金陽会』きんようかい作品展～  
(期間 2021年11.28(日)～12.4(土)、会場 田川郡福智町にて)



「私たちの暮らす街、  
そう遠くないところに、  
私たちが知らない人生  
を送る人たちがいます。  
ハンセン病という病気にか  
かった人たちは長年、  
国の政策により、愛する  
両親や兄弟、友人から  
強制的に引き離されて

いました。ふるさと故郷に帰ることさえも、許されませんでした。…

今回の絵画展は、ハンセン病を知るきっかけとして、絵画作品に接しながら、絵を描いた人たちの想いや願い等に、心を寄せていただければ幸いです。」(会場提供:ふくちのやどかふえ yori-toku 溝端 桂子)

2020(令和2)年5月1日現在、全国には国立13か所、私立1か所の療養所があり、入所者総数1094名。(国立感染症研究所ホームページ)

今では感染することも、発症することもほとんどないハンセン病。治る病気であるにもかかわらず、患者さんは強制的に隔離されてきた歴史が…。今回の作品展を通して、ハンセン病を正しく知る一つの機会にできればと、会場の古民家風カフェに入ると、ボランティア(?)の若い学生さんたちが、「ようこそ…」と、温かく迎えてくれました。



縁側続きの一室には、約900点を超える中から、12点の作品や現在「金陽会」唯一の会員：吉山安彦さんの作品集も展示されていました。

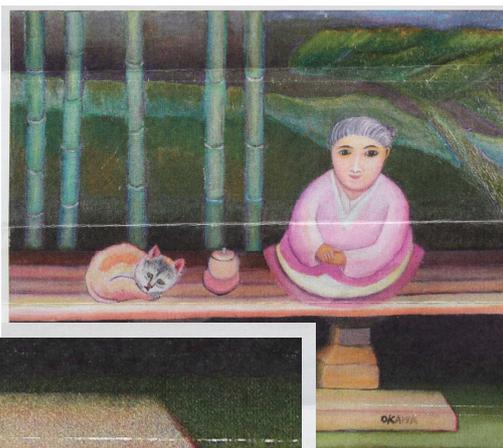


「夕すげの咲く頃」吉山安彦  
阿蘇五岳(左は根子岳)を後ろに、夜だけに咲く夕すげの花が、自らの耐え難い人生と重なって…

「<sup>きんようかい</sup>金陽会」は、熊本のハンセン病療養所：<sup>きくち</sup>菊池恵楓園で昭和28年、一人の看護師さんの呼びかけで始まった絵画クラブです。金曜日に活動されていたので「金曜会」と名付けられましたが、太陽のように明るく活動を続けようと、太陽の「陽」をとって「金陽会」となったそうです。

入所者の中には、家族に迷惑をかけないように、故郷から遠く離れた療養所に入所された方もおられます。…絵画は、故郷や両親、兄弟姉妹、友人への想い(帰りたい! 会いたい! **生きてきた証を残したい!**…)を、代弁してくれているようでした。

この「日向ぼっこ」は、大山清長さんの作品で、故郷：奄美大島を思い出しながら、ほっこりする様子が色彩豊かに描かれています。…しかし、よく見ると、作品右下には「OKAWA」と書かれた名前が…!! (本名の「大山」でなくて)



《日向ぼっこ》大山清長 1996年 油彩、あかし

「本名」を刻めなかつた、言葉に尽くせない想い!

療養所に入所する際、「本名」ではなく「園名(偽名)」を名乗ることが求められていた…という紛れもない事実の中で、

人間としての尊厳を大切に、生き抜いてきた人々の証でもある!!…ということを、絵画は伝えてくれている…と思わずにはいられませんでした。

- ◆ 正しく知ること、正しく理解すること!!
- ◆ 誰もが、かけがえのない生命を生きていること!!…

「80年前の今日、真珠湾攻撃が…」 私たち一人一人が過去の出来事を正しく知って、誰もが幸せに生きることが出来る社会につなげていきましょう!!

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】2022(令和4)年1月7日(金)

みんなの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への《懸け橋》

No. 42

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

2022(令和4)年が始まる直前、『人権新時代』の連載が…!!

来年3月で、創立百年を迎える**全国水平社**。差別に苦しむ当事者自身が、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と声を上げた、わが国における様々な人権運動の原点であり、日本初の“人権宣言”とも言われている。

……

今もなお、部落問題が存在し、多くの人権問題を抱える現代社会。コロナ禍では、非常時に揺らぐ、人権意識のもろさも浮き彫りに！

……

百年目の節目に、人間の尊厳を重んじ、当事者を主体とした水平社の精神を、改めて見つめ直したい。

西日本新聞朝刊(2021.12.30) 闘い1世紀 部落差別今も

Think! Human rights(考えよう! 人権)

## 人権 新時代

年末年始にかけて上記連載のスタートに、新年に託す大きな意味を感じます。小学校社会科教科書では、「私たちのだれもが生命や身体の自由を大切にされ、人間らしく生きる権利(基本的人権)を生まれたときからもっている」こと、「国や地方の政治が努力するだけでなく、私たち一人一人も憲法に掲げられた『**基本的人権の尊重**』という理想の実現に向けて、お互いの人権を尊重し合う社会をつくる努力をしていく」大切さを学んでいきます。→【**三原則**:他に、**国民主権**・**平和主義**】

日本国憲法第11条より  
国民は、すべての生まれながらにして持っている基本的人権を侵されない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

こうした「人権を考える」特集等を通して、身近な日々の生活(くらし、教育、仕事、福祉、多様性…)の中で、他人ごとでなく自分のこととして「人権」のことを、身近な人と話し合える新年にできれば…!!

## 図書館内に、巡回(人権)パネル展の関連図書コーナーを設置!!



早速、図書館の受付カウンター横に、杉原千畝さん関連本の紹介コーナーが設けられました。等身大の優しい係員さんパネルがお出迎え…!!

ついで、自分のこととして深く考え、みんなの生命いのちが大切にされる社会を築いていくことに努め、次世代に繋いでいくことが、私たち一人一人に託された『願い』であり、『使命』しめい…でもあると思います。

本の貸し出しもできるそうですので、図書館の係員さんにご相談いただければ…幸いです。

私たちの身の回りにある、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向けた、正しい理解を深める一歩いっしょ、にしていいただければ…!!

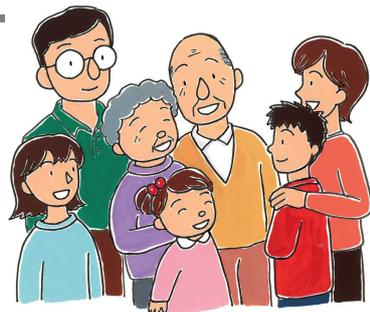
### 巡回(人権)パネル展

開催にあたって、主人公：杉原千畝さんに係る関連図書の紹介コーナー設置について、図書館にご相談したところ快く、お引き受けいただきました。(→図書館カウンター横:左写真参照) **ありがとうございました!!**

『生命いのちのビザ』で、実際に日本を経由して避難された人々のお話や絵本等の関連書籍と併せ、「アンネの日記」等の本も紹介いただいています…

人として今、何をなすべきか私だったら…? 絵本の絵が語っているのは…?

今から76年前の出来事を決して風化させることなく、『**平和や生命いのちの尊さ!!**』に



【朝倉地区人権啓発情報センターだより】2022(令和4)年2月4日(金)

みんなの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への **《懸け橋》**

No. 43

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

**人権** Think! Human rights (考えよう! 様々な人権:①~⑨)  
**新時代**(西日本新聞「光を求めて」→2021.12.30~2022.1.9)

「同和問題等を巡るネット上の悪質な書き込みを地方自治体が確認し削除につなげる『モニタリング事業』が、全国的に広がっている。…」との記事が掲載されました。

「部落解放・人権研究所(大阪市)や西日本新聞の取材によると、少なくとも九州6県を含む**235**の自治体が展開。これまでに1万数千件の投稿が削除された。悪質と判断されても削除に至らない投稿も多く、拡大するネット差別への対応の難しさも、浮き彫りになっている。」…約9割の自治体が同和問題を対象にしており、外国人や障がい者、性的少数者、新型コロナウイルスに関する投稿チェックも増えているとのことです。**~こうした状況について、皆さんはどう考えられますか?~**



自治体による削除依頼、法務省の削除要請いずれにも強制力はなく、H27~R元年度(5か年)に削除を求めた計7706件のうち、実際に削除されたのは4291件(約55%)。「悪質な書き込みが横行する中、自治体がモニタリングをしていること自体、抑止力になっているとされる反面、『ネット分野』は日進月歩で、対応が追いついていない。まだまだ、試行錯誤の段階だ。…」とも言われています。



ノートパソコンに向かい、差別的な投稿を探す大分市職員  
=昨年12月、同市役所

全国235自治体

ネット掲示板

部落問題根深く

差別投稿  
1万件超削除

2022.1.5(水)  
西日本新聞一面

今一度、原点に立ち返って、同和問題をはじめ様々な人権問題のことを「他人ごとじゃなく、私自身のこと…」として真摯に捉えることが、私たち一人一人に投げかけられて(→問われて)いるのではないのでしょうか。

# 誰もがみんな、『人として』つながり合える…情報化社会をめざして!!



いつでも、どこにいても、瞬時に情報等を得たり、発信したりできる時代が到来し、二十数年余りが経ちます。

→ 2019(令和元)年、総務省の統計では世帯におけるスマートフォンの保有割合が8割を越えたそうです。

24時間中、インターネットにつながっているような状態だということが、どういうことなのかあまり感じることもなく、日々を過ごしている(?) かもしれません。

今一度、「一人一人の人権が守られていますか?」という視点での振り返りは、とても大切ではないでしょうか!

パソコンが普及し始めた頃(1998~)から、「光と影」という問題点が指摘されてきました…

「光」は、利便性等による「よき」に対し、「影」は、その「弊害」としての側面でした。

二十数年経った今、時間や空間を越えて「つながる」ことが可能になった反面、ネット上での誹謗中傷や名誉棄損にかかる行為、個人へのプライバシー侵害、『なりすまし』による不法行為や予断と偏見に満ちた差別の助長につながる人権侵害等により、取り返しのつかない事態を招くなど、理不尽な事案が生じているのも事実です。決して、他人ごとでなく、「私」自身の人権課題です。



人権啓発冊子カレンダー  
**ひらけ未来に**  
Vol.32  
2022(令和4)年  
発行者: 朝倉地区人権・同和教育推進委員会

ひらけ未来に VOL.32

**ネットは いちばん大きな公共の場**

パソコンやスマホに向かっているのは自分ひとり。けど、その向こうには**世界中の人がいるんだ!!**

これらの言葉、声に出してみんなの前で言えますか?

誰でもつながれるからこそ、**誰にでも優しくしたいよね!**

**ネットを使う時に気をつけていますか?**

- ・悪口や差別的なことを書いていませんか?
- ・他人の書き込みをまねして、悪口を書いたり、広げたりしていませんか?
- ・人が写っている写真や動画を勝手にのせていませんか?

人権啓発冊子カレンダー『ひらけ未来に (vol.32) : 2022』より

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】2022(令和4)年3月1日(火)

みんなの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への **《懸け橋》**

No. 44

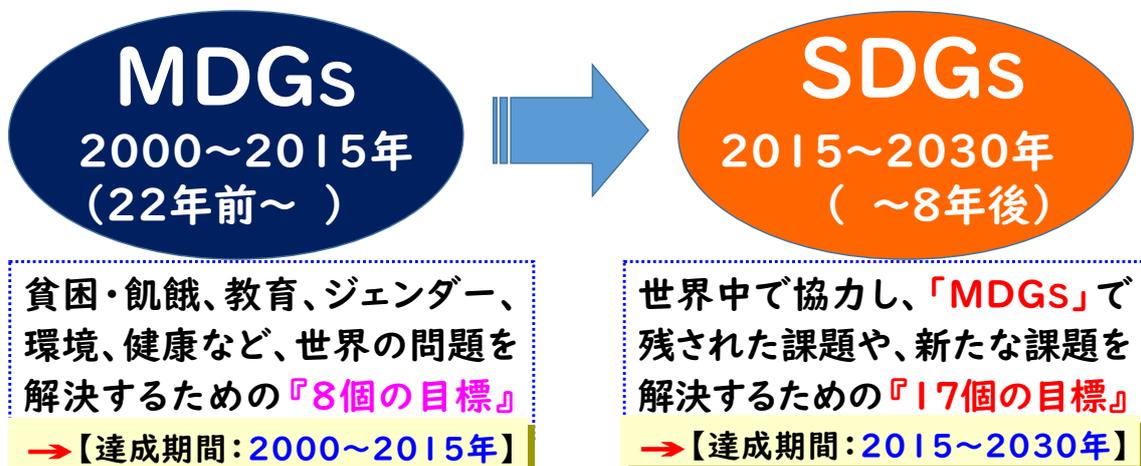
発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

エス・ディ・ジー・ズ  
『SDGs』という言葉、最近よく取り上げられるように…!!

「SDGs」とは、英語の頭文字をとった略語で、日本では「**持続可能な開発目標**」と訳されています。…これは、地球で生活する私たち誰もがみんな、幸せな未来を迎えられるように、2030年までに達成すべき『17の重要な目標』として定められました。【→2015年：国連で採択】(平成27年)

- サステイナブル
- Sustainable (維持できる、持ちこたえる…) → 『**持続可能な**』  
～ 限りある資源を使い尽くすことなく、未来にも残していく!! ～
- ディベロップメント
- Development (物事の発達・発展、開発…) → 『**開発**』  
～ 世界をよりよくするための取り組みを、実行していく!! ～
- ゴールズ
- Goals (目標、目的…) ※ 複数形の「S」 → 『**目標**』  
～ 「SDGs」が掲げている、17個の目標を指している!! ～

「SDGs」には、その前身となった目標がありました。…2000年というミレニアム(新たな千年)を迎えるにあたって、21世紀における国際社会の目標として採択された『**MDGs**(→ミレニアム開発目標):2000年9月』です。



～誰もが人として、安全で…安心できる暮らしを、未来につなぐために～

■ 人を支える→(健康、医療、教育、福祉、仕事、生きがい、人間関係…)

■ 暮らしを支える→(治水、食料、エネルギー、交通・運輸、通信、技術…)

『持続可能』→環境(気候、海・陸・大気…) 保全、平和希求、人権尊重



『17個の目標』 ※「世界を変えるSDGs」監修 小林 亮(あかね書房)参照

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなに そして、クリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任 つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナーシップで目標達成しよう

【特徴①】…17の目標ごとに、具体的な個別目標【ターゲット:169個】と、その達成度合いをみる指標【評価尺度:232個】が設定されています。

【特徴②】…17の目標は、互いに影響し合い、関連し合っ、つながっています。  
例えば、目標1「貧困をなくそう」では、目標2.3.4.6.10.16等が…!!



- 「飢餓」に苦しみ、「水・トイレ」「健康・福祉」に恵まれず…。
- 生活が苦しく、「教育」の機会を奪われている子どもが…。
- 「戦争」や紛争が起こり、平和とかけ離れた国や地域が…。
- 負(貧困)の連鎖→人と人・国と国の「不平等」な現実…。

「SDGs」について、大まかですが、取り上げてみました。  
その根っこには、21世紀を生きる私たちにとっての  
キーワード『人権・環境・平和』が盛り込まれています。

世界中の誰もがみんな、一人一人のかけがえのない  
生命(人権)が大切にされる社会を次世代につなぐため、  
その基盤である環境【気候、食料、エネルギー、大気、宇宙…自然】を守り  
育てると同時に、戦争のない平和な社会を築いていく使命が、私たち一人  
一人にあることを、「SDGs」の提起は、改めて気づかせてくれています。



【朝倉地区人権啓発情報センターだより】2022(令和4)年3月4日(金)

みんなの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への『懸け橋』

No. 45

発行:  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

# 『戦争は、最大の人権侵害』だと言われるのに…!?

戦争やめろ!!

2022(令和4)年2.28(月)西日本新聞朝刊:世界各国で「Stop War」のゝ声、

ハウス前で  
(米)ホワイト



街では、子どもも  
(英)ロンドンの



ロシアのウクラ  
イナ侵攻後、初  
の週末。欧米や  
日本等で抗議  
デモが相次ぎ、  
人々が怒りの  
声を上げた。  
「母は地下シ  
エルター、父は  
志願兵に。家族  
は、離散状態。  
世界は戦争を  
直視して、と  
あるウクライナ  
人は、訴えた。

## 怒る世界「戦争やめろ」

埋め尽くす抗議デモ  
(独)ベルリン中心部



### ロシアに抗議 欧米、日本で拡大

27日には、韓国  
で数百人が抗議  
集会を開いた。  
日本各地でも、  
抗議活動が相次  
ぎ、ウクライナ  
人やロシア人を  
含む多くの人  
が「戦争反対」を  
訴えた。  
「戦争は最悪  
の方法。反対の  
気持ちを伝える  
ために来た」と。

2月24日(木)の早朝、信じられないニュースが飛び込んできました。  
「…隣国の支援要請を受け、自国民を守るため、他に選択肢はなかった。」  
という一人のリーダーによるウクライナ派兵宣言で、どれだけの人々が  
傷つき亡くなり、戦禍に追われ、失意のどん底に置かれていることか…!!

これまでの歴史的な経緯や国家体制の違いなど、様々な報道がある  
中で、ただ一つ間違いなく言えるのは、突然、理不尽な  
「侵略」による攻撃で、かけがえのない生命が失われ、  
家族や身近な人々の幸せを奪い去っているということ  
ではないでしょうか。《一方の「平和」を守るためという  
大義名分(?)を掲げ、他方の「平和」を踏みにじっていく》  
「これが、彼の言う平和か…!?’という言葉が、心を刺すように響きます。



2/28夕方の報道では、「14人の子どもを含む、市民352人が犠牲に…」



傷ついた6歳の女の子への必死の治療も叶わず、言いようのない涙を流す母親や医療従事者。国を守る兵士に志願する父親と別れて、母親と一緒に避難する男の子の止めどなく、こぼれ落ちてくる涙…。こうしたやり場のない“涙”は、「戦争は最大の人権侵害」であることを否応なく、全世界の人々に訴えています。…決して、「対岸の火事」ではありません!!

2/24の演説では、「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ。わが国を攻撃すれば壊滅し、悲惨な結果になることに間違いはない。」と強調し、核兵器使用の可能性に繰り返し言及するなど、国際社会を威嚇するような言動が…!! (→2/7の記者会見では、「ロシアは核保有国だ。その戦争に勝者はいない」と、述べられていたのに…? 何が、そうさせてしまうのか?)



「難民が50万人を超える。」(国連難民高等弁務官事務所【UNHCR】2/28発表)という緊迫した現状に対して、ロシアの人々も含め、世界中で「戦争反対!」「すべての人に平和を!」の“声”が日増しに大きくなっています。理不尽な侵略戦争の、一日も早い終結(力の論理による終結でなく、すべての人々の人権【=かけがえのない生命】を尊重するという視点からの終結)を、心から切に…願うばかりです。

～協調し合い、「平和を築く」ことの大切さ!!～



懸け橋(44号)に掲載した『SDGS』では、“持続可能な17個の開発目標”の一つ→【16 平和と公正をすべての人に】が掲げられ、特に【17 パートナーシップで目標を達成しよう】と、密接につながり合っています。

戦後生まれの人口が全体の8割を超え、戦争が「記憶」から「歴史」へと変わりつつある中、戦争の惨禍を次世代に伝えていく取り組みが、重要になっていると言われる時代!! 「平和」や「人権」に係る様々な諸問題は、他者とのかわり合いから生じます。互いの文化や社会の違いを理解し認め合い、不易(いつまでも、変わらないこと)の視点で、人権を尊重し合う道すじを見出せるように根気強く努め、次世代に繋いでいくことが、私たちの役割ではないでしょうか。…



【朝倉地区人権啓発情報センターだより】2022(令和4)年3月11日(金)

みんなの“人権”が尊重される

『まちづくり』への《懸け橋》

No. 46

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

## 『戦争は、最大の人権侵害』… 21世紀になっても、 こうした事態が…!!

【2022(令和4)年3月8日(火)：西日本新聞朝刊一面】



戦況が悪化する中、母親(右)に手を振りながら号泣する6歳の妹(中央)を抱きかかえる12歳の少女(左)【→3/7、ウクライナ・オデッサ(ロイター共同通信)】

3月10日(木)も、**住宅地**や**病院**等の民間施設が空爆の被害を受けるなど、信じ難い無差別攻撃ともいべき人権侵害の数々が連日、報道されています。

3/9には住民避難のため一時停戦状態だったにも関わらず東部マウリポリで、**産科・小児科病院**が空爆の標的にされました。

2/24(木)からこれまで、

停戦に向けた世界の動きに反し、学校や保育所も例外なく、到底許し難い空爆などの侵略行為が続き、数多くの人たちの生命が奪われている日々…。でも、そこには、確かに**一人一人のかけがえのない生命**が…!!



さらに、原子力発電所への**攻撃・核兵器**までも持ち出すかのような脅し、や、確かな情報等を被り隠すかのような実態が…!? 3/10、双方が直接対面する中で、初めての外相会談では、信じ難いことですが「**ウクライナを攻撃していない**」と…!? 明らかに紛れもない侵略行為であり、リアルタイムで繰り返されている一主権国家への理不尽極まりない人権侵害行為を一刻も早く止めなければ…と、ただただ願わずにはられません。

「**ウクライナの少年(11歳)が、隣国【スロバキア】まで1100キロの長旅を、一人で避難!!**」という報道も…。何故、こうさせてしまうのか?

21世紀は「**人権・平和・環境の時代**」と言われ、ミレニアム(1000年単位の始まる)世紀にあたり、開発途上国に暮らす人々が直面している課題(貧困、飢餓、教育、ジェンダー平等など)の解決に向け、『**MDGs (エム・ディ・ジー・ズ) ミレニアム開発目標**』が、国連で採択されました。

さらに、2015年9月には、2030年(～8年後)までに達成をめざした

■ (限りある資源を使い尽くすことなく、未来にも残していくという意味での→)『**持続可能**』な、(世界をよりよくするための取組を実行するという意味での→) **17の『開発目標』**→『**SDGs (エス・ディ・ジー・ズ)**』

が国連で採択され、日本においても取組が徐々に広がりつつあります。

～【**「懸け橋」44～45号**にも掲載しておりますので、ご覧いただければ…】～

そんな21世紀のスタートにあって、歴史上「**戦争は、最大の人権侵害**」であるということ、学んできたにもかかわらず、またもや、同じ過ちが繰り返されています。



「**二度と過ちは繰り返しませんから…**」と誓った戦争、が、今まさに、止む様相も見つからずに進行していることを、どう受け止めたらいいのか? 何ができるのか? 正直よく分かりません。



こうした状況下、同時に開催されている平和の祭典、パラリンピックですが、この開会式挨拶において、国際パラリンピック委員会(IPC)パーソンズ会長さんは…

◇「今、世界で起きていることに強い衝撃を受けている。」「21世紀は『**対話**』と『**外交**』の時代だ。戦争と憎しみの時代ではない!!…」

◇「みんなが共生できる世界! 差別や憎しみとは無縁の、紛争のない社会をめざす!」「世界はともに生きる場所。分断があってはならない!」

と語られ、スピーチの最後には『**ピース PEACE (平和) !!**』と思わず絶叫される姿が…。こうした心の底からの叫び声や『**NO WAR (戦争反対) !!**』の行動は、決して押さえきれものではないと信じます。(…しかし、今度はクリール諸島(北方領土と千島列島)で、地対空ミサイルの発射演習を実施したとの報道が…!!【3/11:時事通信】) こうした時だからこそ、

**「人の生命は地球よりも重い」こと、改めてみんなで確かめ合ひましょう!!**